

北信濃 中野の地で柔らかい陽ざしの中にいつもより早い春の訪れを感じる季節が巡ってきました。

このすべての命輝く春の佳き日に、保護者の皆様のご参加を賜り、令和二年度長野県中野西高等学校入学式を挙行できますこと、誠にありがたく、厚く御礼を申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました、191名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは人生の中で避けて通ることの出来ない試練の一つをみごとに乗り越え、中野西高等学校の37期生となります。ようこそ、中野西高等学校へ。心から歓迎します。

本校は、地域の熱い期待のもと、生徒急増期の新設校として昭和59年に開校しました。本校の校歌の作詞者は23歳で芥川賞を受賞した丸山健二氏であり、丸山氏はモチーフにイヌワシを取り上げ、「イヌワシのように誇り高く、自主性のある力強い人間になってほしい」という強い願いを込めて、「イヌワシの歌」と名付けられました。校歌の作曲者はジブリ作品で有名かつ現在大活躍の「久石譲」こと藤澤守氏です。新進気鋭の方々によって本校の立ち上げが支えられ、本校は常に新しいチャレンジを試みてまいりました。

開校当時から続くゴミを集めながら、より多くのポイントとそこに設定された問題を解くことを競うクリーンオリエンテーリングという学校行事もその一つです。そして、平成27年には県内高校初のユネスコスクールに認定されました。ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、「持続可能な開発のための教育(ESD)」の拠点となる学校です。このESD活動は地球的課題を自分のこととしてとらえ、自分のできることから取り組むことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出す活動であり、持続可能な社会の担い手を育む活動です。

今、世界は新型コロナウイルス感染により、大きな脅威にさらされています。今年の三月二日以降、全国一斉の臨時休校となり、皆さんも通常とは異なる状況で中学を卒業されたと思います。皆さんの入学をお祝いするべき晴れの日の入学式も感染予防のため、通常とは異なり、時間や内容を大きく変えざるをえなかったこととお詫びいたします。しかし、この見えない敵に何としても打ち勝たなければなりません。それにはどうしたらよいのでしょうか。

フランスの哲学者パスカルの書『パンセ』には「人間は考える葦である」とあります。人間は風が吹けば飛ぶような一本の葦のように弱い存在ではあるが、考えることができる知恵があるというのです。人間はどんな困難にぶつかっても考えて解決策を見出すことができるのです。時代を乗り切って生き抜く力をユネスコスクールである本校で学んでほしいと思います。

そのためには、日々の授業をまず大切にして、基礎・基本をしっかり身につけてください。クラスやクラブ、生徒会、ESD活動などに積極的に取り組んで、仲間と協働し、コミュニケーションをとりながら人間関係を広げてください。いろんな体験をすることが、先の見通せないこれからの時代に立ち向かう経験となり、生きる勇気を与えてくれるでしょう。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠にありがとうございます。これまで陰になり日向になって育てて来られたお子様が、義務教育を終えて晴れの高校入学を迎え、感慨もひとしおかと拝察いたします。お子様が、本校での様々な活動を通じて、自ら人生を切り拓いてゆく力を身に付けられますよう、私ども教職員一同、全力を尽くしてまいりますので、何とぞ本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますとともに、よりよい学校を共に創るパートナーとして手を携えてくださいますようお願い

申し上げます。

新入生の皆さんのこれから始まる高校生活が、輝ける未来に向けた希望を育むものであることを願
い、イヌワシが翔ぶが如く成長できることを期待して、式辞といたします。

令和二年4月6日

長野県中野西高等学校長 宮原 弘匡